

天溪 2012年 「アンナプルナ・サーキット 16日間」

第1部

「アンナプルナ・サーキット 16日間」を10月17日～11月1日に行いました。アンナプルナのベースキャンプまで登る内院トレッキングやアンナプルナ・ダウラギリ間を通るジョムソン街道トレッキングは行って来ましたが、アンナプルナ山群を一周するサーキット・トレッキングは今回が初めて。ほんの数年前迄20日以上を費やしたこのコースに道路ができて2週間足らずで走破可能になり、リクエストも有ったの実施でした。とは言え旅の終盤に“World Biggest Pass”と呼ばれるトロンパス(5416m)越えが有り、高山病や降雪の危険も伴いながら全員無事に完走する事が出来ました。



(トロンパス到着 10/28日)

○アプローチ

カトマンズをジープで出発しトレッキングポイントへ。初日はベシサハールと想っていたら車は快調に進みシャンゲ迄入れて1日得をし、この1日をマナンの高度順化に充てる事に。シャンゲから先もコトまで道路(悪路)が完成しており、車やバイクが砂塵を巻き上げ疾走し不快な事この上なく、旧街道を使うなどしてトレッキングを続けました。入山3日目のダラパニはこれから向かうアンナプルナ方面と世界8位の高峰で1956年日本隊初登頂のマナスル(8163m)方面の分岐点。村を過ぎ暫く進むと後方にマナスル山群がそびえていました。



(ポインセチア 10/20日)



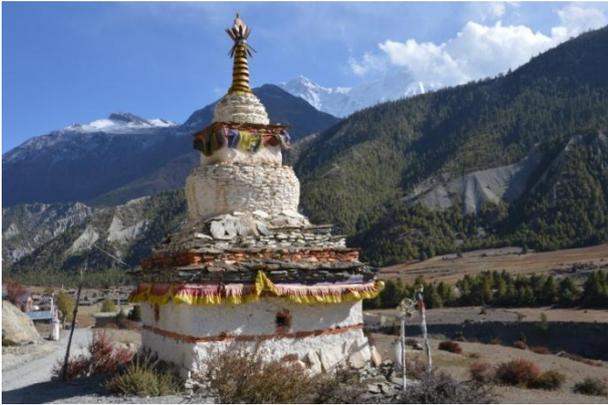
(ダラパニへ 10/21日)





○マナン

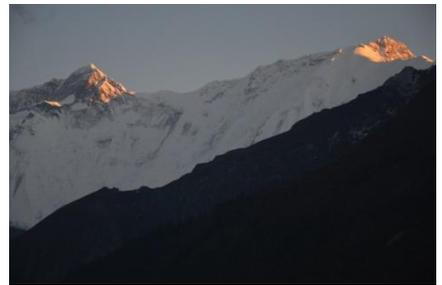
標高 3200mのピサン辺りから展望が開け、アンナプルナ山群の山並みが現れてきました。そしてマナン (3500m) に至るころには景色も徐々に荒涼と化し、昼間は谷合を貫ける強風が砂塵を巻き上げ疾風し、乾燥したチベット地方に近づいた気がしてきます。しかし、この地は宿泊施設が充実し、パン屋やレストランも数件あるトレッカーには落ち着く所。引き返しの失敗が許されないトロンパス越えを前に 3 日間の高度順化で体調を整えました。



(マナン入口 10/24 日)



(ヤク 10/25 日)



第 2 部はトロンパスを越えジョムソン街道までをお送りします。